

令和4年12月 高原町教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和4年12月22日(木) 9時30分～10時45分
- 2 場 所 高原町中央公民館 2階第1会議室
- 3 議事日程
- 第1 議事録署名委員の指名
 - 第2 教育長報告
 - 第3 議 事
 - 報告第38号 令和4年度第6回高原町議会定例会について
 - 報告第39号 高原町教育振興基本計画策定について
 - 報告第40号 高原町小中一貫教育校準備委員会について
 - 第4 その他

- 3 出席委員
- | | | |
|------|-------|------|
| 教育長 | 西田次良 | |
| 教育委員 | 福丸幸治 | 後藤良文 |
| | 有水りえ子 | |

- 4 欠席委員
- 温谷一浩

- 5 事務局
- | | | | |
|-------|-------|------|------|
| 教育総務課 | | | |
| 課長 | 中別府和也 | 対策監 | 武田透 |
| 課長補佐 | 江田雅宏 | 係長 | 山下浩樹 |
| 主任主事 | 長友将伍 | 会計主任 | 西川藤子 |

6 会議内容

◎開会

9時30分

【1 開会】

西田教育長 開会を宣告する。

西田教育長 【2 日程第1 議事録署名委員の指名】
議事録の署名人に、西田教育長と後藤委員を指名する。

西田教育長 【3 日程第2 教育長報告】

まず、学校教育のほうから報告します。学校は、明日23日で二学期の前半が終了となります。1月6日までの休みとなりますが、連休が続きますので1月10日からの開始となります。

11月22日に、一貫教育の授業研究会が高原中学校で開催されました。県のICT活用推進モデル校の指定を受けていまして、その公開も兼ねたところです。今年度、県内の8校が指定されて実施をされています。町内からは本町の職員が75人全員参加。そして、町外からは42名の先生

方が参観に来られました。国語と社会と英語の授業を実施しましたが、一人1台のタブレットと新しく導入した電子黒板を、有効に活用しての授業が行われました。

高原中はICTの活用参考書を作成をしまして、表題に「一人の百歩より百人の一步」と書かれており、全職員がICTの活用と実践が可能になったということの紹介がありました。職員のほうも夏休みまでは、なかなか活用、操作もおぼつかなかったのですが、操作もスムーズに行えるようになったと報告がありました。

11月30日には高原小学校定期の学校訪問ということで、教育委員さん方も出席をいただきました。各年に実施する計画訪問ですが、前回は令和2年で、コロナ渦で午前中のみの授業だったのですが、今回は3つの研究授業も含めて大変充実した訪問となりました。南部教育事務所から6名指導主事がみえて、教育目標の達成や高原小の教育的課題の解決の方策について指導助言をいただいたところであり、概ね好評をいただきました。

社会教育のほうはスポーツ関係で、11月20日の日曜日、「第1回高原町健幸駅伝兼第47回高原町選挙駅伝競走大会」が開催されたところです。今年はコースを変えて狭野神社からスタートして総合運動公園までの9.2キロというコースで、ちょっと距離が短くなって走りやすくなったと思うのですが、町内一般が6チーム、町外から5チーム、中学生が1チーム、小学生が2チームの計14チームが参加していただいて大会を盛り上げていただきました。

11月21日に「市町村対抗駅伝競走大会」の激励会がありました。高原小学生が5人、広原小学校から2人、後川内小学校から1人、高原中学校から4人、後川内中学校から2人の参加ということで練習も頑張ってくれているようであり、1月10日の本番に向けて準備をしているところです。当日一人ひとり決意表明をしてくれたのですが、昨年優勝していますので今年もぜひ優勝を狙う、と力強く決意表明をしてくれました。

その他で、教育委員会の取り組みを報告いたします。後でまた詳細に説明しますが、12月19日に「第2回高原町教育振興基本計画策定委員会」を実施しました。前回は10月6日に実施されておりますが、その後、計画の資料見直しや、子育て世代の回答が少なかったということで、改めて子育て世代の皆さんにアンケートを実施しました。それからこれまでの各事業の取り組みについての振り返り等々を含めて協議をいただいたところです。大変多数の御意見をいただきました。今後パブリックコメントを実施して年度内の確定ということで、また委員の皆様にもお示ししたいと思います。

昨日21日に高原町小中一貫教育校準備委員会が発足しまして、第1回を実施しました。52名の出席ということで、全体会で会の目的や令

和8年度の小中一貫教育校の開設に向けて必要事項について協議をいただきということで、今後の計画等をお示しました。

部会は、総務、式典、教育、事務の4つに分かれていただき、各専門部会で協議をいただきました。今回は総務部会だけに協議事項があり、制服について方針を出しておきましょうということで、今後アンケートを一度とってそれを参考にしながら1月までには方向性を示して、そして各学校にそれをお示しするというので決定をいたしました。

中別府課長 (補足説明)

連絡事項といたしまして、明けて令和5年1月5日の木曜日になりますが、「令和5年はたちの集い」がほほえみ館神武ホールで開催されます。教育委員の皆様方にも御案内がいつているかと思えますけれども、是非御出席のほうをお願いしたいと考えています。

武田対策監 一つ修正があります。11月25日一貫教育企画実行委員会こちらを削除しまして、12月2日に期日が変更になりました。よろしく願います。

西田教育長 今、訂正があった通りでございます。他、御質問はございませんか。

後藤委員 第2回地域と学校の「絆」推進委員会が小林であったと思うのですが、どういった内容かをお聞かせ下さい。

江田補佐 こちらにつきましては、参加しているのが各学校関係者、小林、えびの南部事務所管轄ですね、都城、三股は1人だけだったのですが、行政関係者、地域学校協働活動とかコミュニティースクールを担当されている職員の皆様方、アシスト企業と言って高原中からは森木材工業さんが来られて、県からはコミュニティースクールとか地域学校協働活動の実施の状況の説明とかがあったのちに、6月に1回この会議をやっているのですが、6月に開催した時の今年度の取り組み、いわゆる本町で言えば地域学校協働活動の状況についての情報交換というような形で行われました。1部と2部に分かれて最初は町のほうで情報交換をして、そのうちに各市町の担当者に分かれて情報の共有、意見交換をするというような形、最後にまとめをするというような流れで、その中で出たのが今後本町においても統廃合に向けて、統廃合の中で地域学校協働活動もですし、学校運営協議会コミュニティースクールの話もしていかないといけいのですけれども、そういった中でそこに対する教職員への研修等も必要という話が出たところでした。内容としては以上のようなことが話されたところです。

福丸委員 教育長の先程の報告と今度開かれる駅伝競走大会、多分1月10日と言われたのですが、9日でよろしかったですか。

西田教育長 失礼しました。9日ということでお願ひします。

西田教育長 【4 日程第3 議事】

西田教育長 《報告第38号 令和4年第6回高原町議会定例会について》

中別府課長 一般質問につきましては、7名の議員からありましたが、入佐議員のほうが一般質問当日体調不良で欠席ということで6名の方からの質問でした。教育委員会に関しましては、福澤議員、末永議員、温水議員の3名から質問がありました。

(資料に基づき説明)

有水委員 ～ 質 疑 ～

高等学校の全国大会に出場の補助は、小林高校と秀峰高校と聞いたのですが、小林西高とか私立の学校等でも行く場合があり、生徒が町の出身者とかであれば対象として出るのですか。県立系の学校だけの補助なのか、私立系の学校も補助があったのか記憶が定かではなくてそういう場合もあるのかお聞きしたいです。

長友主任
主事 ～ 回 答 ～

今、西諸地域内の小林市内に県立高校があるのですが、その高校の西諸管内でつくる事務局が小林の方にあるので、そちらの方にそれぞれ各学校から全国大会出場する際に費用に対して申請があがってきて、小林の方でそれを集約してそれぞれの金額とそれぞれの負担額を提示して、高原町がそれぞれ予算を組み込むのですが、私立高校についてはまた調べて過去あったかどうか、今年度と昨年度は確かなかつたと記憶しているのですが、過去の資料を調べて報告させていただきたいと思います。

西田教育長 《報告第39号 高原町教育振興基本計画策定について》

中別府課長 (資料3-1に基づき説明)

こちらは以前、定例会で説明しました、町民、正民を対象とした町民アンケート調査で自由記載の設問で回答があったものを、まとめた報告書になっています。

(資料3-2・3に基づき説明)

こちらの資料につきましては、町民、正民を対象とした町民アンケート調査の自由意見を除いた全ての設問の結果をまとめた、町民アンケートの最終報告書となっています。

(資料4に基づき説明)

高原町教育振興基本計画前期計画の第4章に記載されている21の基本施策につきまして、現在はどうなっているのかということで今後の方向性は、どうしていくのかということで教育委員会のほうで精査、研究し作成した施策の強化シートとなっています。

(資料5に基づき説明)

高原町教育振興基本計画後期のたたき台について説明します。こちらのたたき台のほうは事務局のほうで作成しました。後期計画の全体案となっています。

事務局としましては、策定委員会及び教育委員の皆様からいただいた御意見を加味しまして、パブリックコメントを実施したいと考えています。色々御意見等があればまた、事務局のほうまで意見をお寄せいただきたいと思います。

福丸委員 ～ 質 疑 ～

色々な意見が中には書いてあります。そういった意見を今後いかしていかなければいけないかなと思っています。町民の声を聴くことで、より良い基本計画ができるのかなと思います。

一つ二つ聞きたいのですが、町民に対するアンケートは、どういった方々に配布されているのですか。

中別府課長 ～ 回 答 ～

こちらにつきましては、町内の小中学校、保育所あるいは認定こども園の保護者の方にアンケートを行いました。

福丸委員 ～ 質 疑 ～

そういった方々にアンケートを配るということと、色々な自由の記入と書かれている部分もあるのですが、アンケートを実施した場合その%の回答率というものが低いのかなと思います。

中には、「私、高齢なのでアンケートを送っても分からない。」というようなことも、書かれていたような気がします。そういった方々を今度どう対応していくか考えたうえで、高齢の方については、若い方にまわして下さい。といった御意見も書かれていました。

この%率を上げるために施策とか考えていますか。

中別府課長 ～ 回 答 ～

福丸委員からございましたように、回答率がなかなか上がらないというところがあります。今回1000人アンケートだったのですが、年齢構成に応じてその割合で抽出しました。本来であれば、若い親の層を多くアンケートを取るようになればよかったのですが、今回そこができていなくて回答率が少なかったのと、若い保護者の方の意見を反映

することがなかなかできなかったところが反省点です。今後はそこらあたりを改めまして、アンケートの手法につきましては検討していつて、より多くの回答を得られるようにしていきたいと考えています。

後藤委員 ～ 質 疑 ～

今後の中央公民館や図書室、図書館についての御意見要望がたくさん載っており一応目を通したのですが、前にもお尋ねしましたが、図書館の建設等はアンケートを取ってどのように反映されたのか、お聞きしたいと思います。

公民館の場所とか図書室関係があまり知られていないようなアンケートが返ってきているような気がするのですが、新しい学校もできますが、図書館の関係はどのように考えているのかお聞かせください。

江田補佐 ～ 回 答 ～

具体的にはどういったことと言うのは、まだ検討していかないといけないところなのですが、施設を整備するというのはお金もかかることですので、学校の建設や庁舎の建設とかありまして、その後については優先順位を公共施設検討委員会で検討してくことになるかと思えます。その中で図書室のあり方についても当然、検討していかないといけない事と思っていますので御理解いただきたいと思えます。

後藤委員 ～ 質 疑 ～

図書室のあり方をもっと住民に知らせる方法とか、アンケートには、知らないという方々の意見もあるし、公民館がどこにあるのかという指摘もあるので、そこら辺についてはどう考えていますか。

江田補佐 ～ 回 答 ～

図書室の現状については、子供読書推進計画を策定する際にアンケートを取りました。その際もどこにあるのか分からないということで、今図書の担当が毎月広報高原に図書の案内をするのですが、その一角に図書室案内の地図を書いたりとか、今計画しているのが図書室便りとかそういったものを回覧にて区長会等で配布できればなど、係内で検討しているところです。

あと、のぼり旗をして今日は開室されているとか、目にも訴えとかそういった色んな配慮をしていかないといけないというのは、検討していますのでもう少しお待ちいただくと助かります。

有水委員 ～ 質 疑 ～

県立図書館からの貸し出しや、返却用ポストも入口の方であって、その活用者は小中学生なのか一般の方もされているのか、現状はどれくらい活用されていて、やはりまだ、それもあることを知らないという方もアンケート等をみるとあるのかなと思ったときに、町の広報とか教育委員会から毎月発行されている中にも書いてはあると思うの

ですが、意識して見る人は知っていますが、意識しない人は見ても全然気づかないのだらうなと思うのですが、だからさっき言われた、のぼり旗をたてるとか色んな情報とか、若い方であればスマホやホームページを利用したり情報の発信の仕方を年齢層に応じてやっていくのも大事なかなと思います。

県立図書館の本も貸出しできるということなので、ここの蔵書が少ない分カバーするという意味でも大事だと思うのですが、現状はどれくらいの活用率があるのかもし分かれば教えていただきたい。

江田補佐 ～ 回 答 ～

活用率については今、手元にないので後程お示しします。確かに県立図書館の本もできますし、ご高齢というか移動手段のない方々への優しい図書室、図書館を目指しております。

有水委員の言われる周知の仕方とか、今検討しているものに更に工夫をするための御意見をいただいたと言う事で検討していきます。

西田教育長 《報告第40号 高原町小中一貫教育校準備委員会について》

中別府課長 昨日21日、第1回高原町小中一貫教育校準備委員会を開催しました。

(資料に基づき説明)

準備委員会につきましては、12月定例会で福澤議員から、傍聴とかはできないのかと質問もありましたので、傍聴等は可能ということで答弁しました。また、ホームページ等でこういった会議の開催については公表を行っていきたいと考えていますので時間がつかれる場合は、またそういった傍聴等も御出席いただければと考えています。

有水委員 ～ 質 疑 ～

地域代表の方を公募されて、この2名の方が決められたということなのだと思うのですが、これ以外にも公募に手を挙げられた方がいたのでしょうか。

中別府課長 ～ 回 答 ～

公募につきましては、11月の終わりのほうに行ったのですが、2人しか応募がありませんでした。教育委員会のほうでは若干名ということで考えておりましたので、年度内に再度、募集は行っていきたいと考えています。

有水委員 ～ 質 疑 ～

〇〇さんは、前にスポーツ指導員をしていた方ですよね。また、〇〇

さんという方もやっぱり、町の子供なり色々関わったことがある方でしょうか。

武田対策監 ～回答～

〇〇さんについては、幅広い世代でお子さんをお持ちの方という事で、後なかなか保護者の方はお仕事で出られないから、私は出ることが可能であるという事で、公募のほうに手を挙げられたということです。

西田教育長 《議案第13号 令和5年度高原町教育委員会 学校暦について》

中別府課長 議案第13号については、武田対策監のほうの説明します。

武田対策監 (資料に基づき説明)

西田教育長 【5 その他】

(1) 新型コロナウイルス感染に伴う対応について

中別府課長 12月に入り6日以降、100人を超える感染者という状況で、これにおきまして県独自の「医療緊急警報」が、12月9日から発令されました。また、年末年始を迎えまして感染者が減らないのかなと感じているところです。病院の方も感染者が出たということで、色々住民の方々にも御迷惑をおかけしていますが、どこで感染するか分かりませんので、皆様方も対策の方をしっかりとお願いしたいなと考えています。

有水委員 ～ 質 疑 ～

今回、感染者が急増の中で学校等の学級閉鎖、もしくは休んでいる児童生徒が現状、増えてきているのでしょうか。

武田対策監 ～ 回 答 ～

第8波突入ということで、まだ学級閉鎖等は発生していません。町全体で10人前後の推移で維持している状況です。

西田教育長 全体を通して委員の皆様から、何かありますか。

福丸委員 ～ 質 疑 ～

大きく分けて2つ、皆様にお聞きしたいことがあります。寒くなってきた、コロナ感染症の対策とかインフルとか接種とか数的にも率が、なかなか上がらないなと皆さん感じているところだと思います。ただ、することで予防策ができたりするので推奨とかしていかないといけないと思います。一人一人気を付けながら乗り切れたらいいかなと思っているのですが、こんなに寒くなってくるとなかなか厳

しい面もあるのかなと感じています。

いじめと不登校の防止について、お伺いします。

学校におけるいじめの未然防止ということで先月もお聞きした部分もあるのですが、早期発見に努めて気になる状況を町教育委員会で把握し、町教育委員会設置の育みの会協議が月に1回はあります。今日も予定はされていると思うのですが、協議の内容をお聞きしたいのと、アンケートにも載っていたように、なかなか学校でのいじめとか不登校とか先生からの厳しい声とか、そういうことも載っていました。

町としてもスクールカウンセラーやソーシャルワーカー等も活用されています。そういった専門職を入れながらもこんな状態なので、会議がどこまで浸透しているのかそういったところも町民に深く浸透しているのかどうなのか。カウンセラーの活動状況を教えていただきたいと思います。

令和3年度から教育調整監との学校にかかわる問題とか、そういったところも取り組まれているということで、日々たくさん抱えていると思うのですが、そういう中身的なものもお示ししていただきたいなと思います。

武田対策監 ～ 回答 ～

育みの会については、不登校児童生徒の様子、また不登校として数字には現れていないけど気になる児童生徒の様子について情報交換を含め協議を行っています。

具体的にはスクールソーシャルワーカーの方が家庭訪問に行って、その時の家の状況とか家の保護者の反応とかそういうことを話題にしたり、または実際に保護者の方と会って保護者の方の考えとかを聞き取ったりして、それぞれの立場から情報交換を行って対応策の確認、また修正等を行っているところです。

二つ目のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーについてなのですが、スクールカウンセラーについては児童生徒の相談活動を主な主とした内容として、週に1回中学校のほうに常駐するという形をとっています。

スクールソーシャルワーカーについても、今年度は児童生徒の家庭へのアプローチということで、そちらの相談活動を重視していきまして、やはり中学校のほうに週に1回常駐するというような形態をとっています。こちらの活動については、学校が必要というような時にカウンセラーまたは、スクールソーシャルワーカーのほうに事案の説明等をして実際に活動に動いてもらうという流れをとっているところです。

3つ目の教育調整監についてなのですが、2名配置されていて町内6校ある中でそれぞれ役割分担をしていって学校への対応をしているのですが、生徒指導に関することや、特別支援教育に関することを最近では中心として相談窓口になっているところです。

福丸委員 ～ 質疑 ～

2番目にコロナウイルスの感染症に伴う感染対策ということで、皆

さん4回目、5回目であろうかと思えます。持病のある方についてはなかなかリスクもあるので躊躇してしまうところもあったりするのかなと思えますけど、今後対策をしっかりされて3密等も考えられるので、やはり徹底するべきかと思えます。

あと、先生方の抗原の簡易検査キットなのですが、この時期で子供さんの中には受験生もいるので、PCR検査等を実施するように心がけてはいると思うのですが、先生方の検査はされているのでしょうか。随時、病院の先生がいるわけではないので予め検査に関する検診を受けた教職員の方がいると、先生方も一人一人検査ができるといったところもあります。そういった検査も国からの指針があって、そういうやり方だとは思いますが、現状を教えてください。

武田対策監 ～ 回 答 ～

教職員の、抗原検査キットの活用についてなのですが、こちらのほうは県のほうからの方針もあり週に2回程度検査ができるように12月初めから2月中旬までの期間の検査キットが教職員に配布されています。対象は小学校の教職員を対象としていまして、重症化リスクの高いところということで、小学校の先生方に配布されています。実際話を聞いてみたら、各学校週に2回ほど自宅で検査していると、学校で検査してもしかかっていたら、子供に拡がってしまうので、家で事前に検査して様子を見てということ、全ての学校が自宅でやっているというような話で聞いています。

西田教育長 次回定例会は、

令和5年2月24日(火) 9:00～

西田教育長 閉会を宣告する。

◎閉会

西田次良 10時45分
議事録署名委員

後藤良文